

視覚障害者

災害時に…

知っておきたいポイント



1 周囲の状況を伝達する。

何が起っているのかを知らせるため、火災が発生しているかどうか、または道路の状況などを、大きな声ではっきりと伝達する。

2 避難場所まで誘導する。

安全な避難場所や避難経路を伝え、避難場所まで誘導する。

基本的な誘導方法



通常歩行の誘導

- ①声かけをします。
- ②サポートをする人は、視覚障害者が白杖を持つ手の反対側の半歩前に立ちます。
- ③身長に合わせて、肘か肩を貸す形で誘導します。
- ④誘導しているときは、周りの状況を細かく伝えます。
※実況中継の要領で



狭い通路の誘導

- ①「狭い通路を通ります」と声かけをします。
- ②視覚障害者が持っている腕を背中に回します。
- ③サポートする人が前になり、視覚障害者と前後に並んで先導します。
- ④狭い通路を通過したら、サポートする人は一度立ち止まり、腕の位置をもどします。



時計の針を使って方向を示す (クロックポジション)

(例)



- 「9時の方向 (左) で
火災が発生しています」
- 「50m先を3時 (右) の
方向に進んでください」



白杖SOSシグナル

助けが必要なことを周囲に知らせています。困っていたり、危険な状態であればお手伝いしましょう。